観光都市長浜の礎をつくる「創造態

平成元年 黒壁ガラス館オ

ープン

2 年 木之本大橋開通 奥琵琶湖パークウェイ無料化

長浜地方卸売市場開場 クリーンプラント稼動開始 木之本スティックホー -ル完成

北陸本線米原 公共下水道供用開始 冨田人形会館完成 —長浜間直流化

びわ川道工業団地竣工 県立長浜ドーム竣工 イタリアヴェローナ市と姉妹都市連携締結

4年

SL北びわ湖号湖北路を走る 浅井ふれあいグラウンド完成

高月図書館、公園竣工

北近江秀吉博覧会開催 列見アンダー竣工 市立長浜病院移転新築

東上坂工業団地完成

浅井文化ホール完成 藤ヶ崎トンネル開通 香クリーンプラザ稼動開始

第1回環境ビジネスメッセの開催 大手門通りにまちづくり役場が開設 羽衣交流サミット開催

10 年

長浜曳山祭子ども歌舞伎アメリカ公演実施 映画「男はつらいよ」ロケが市内各地で実施

市立長浜病院の移転改築など

この間も、

阪神 0)

を持った市民が中心となって黒壁ガラス館をス「長浜のまちを活気づけたい」という熱い想い

タ

市民の暮らし向上

を経た今、

まちづくりの手段として始まった黒壁が、30年流化や大河ドラマなど、時代の波にも助けられ、

な試みを続けることができました。

北陸線の

直 々

多くの人の協力をいただいたおかげで様

トさせました。試行錯誤から始まりました



北近江秀吉博覧会

- · 消費税 (3%) が開始 (平成元年)

地下鉄サリン事件(平成7年)

世代の若者が動き出しています。

長浜の新しいまちづくりに向けて、

次の

も変わりません。

り、それを守り継いでいくことは、

大きく発展しました。その原動力となった市民 では「市民運動から生まれた観光都市」として

「地元への想いや熱意」は長浜のDNAであ

長浜は町衆が築き上げてきたまちであり、

今

長浜のシンボルとして育ちました。

様々な団体と繋がり、

人ぐるみ、まちぐるみ

 \mathcal{O}

行政や市民、

令和の長浜のまちづくりを担ってほし

· と 思

輪を作りながら、「まちづくりの心棒」となって、

 \mathcal{O} とした映画 淡路大震災の発生など未曾有 また、 平成初期は、

観光客数は急増し、 近江秀吉博覧会」 ンドを確立して ブル経済の崩壊、

大河ドラマ「秀吉」と連動した「北 と大きく飛躍した時代。 ス館の開館に始まり、 「男はつらいよ」公開、 長浜が観光都市 の大成功などで 観光都市長浜 長浜を舞台

黒壁ガラ

長浜市民のロNA

まちづくりへ

の想いは

来事がありましたが、

いきま

通、 をめざしました。 を着実に進め、 下水道の整備や主要トンネルの開

- 雲仙普賢岳噴火(平成3年)
- 東海道新幹線「のぞみ」運転開始 (平成4年)
- ・Jリーグ開幕(平成5年)

世界・日本の動き

- バブル崩壊(平成3年)
- ・ソビエト連邦崩壊(平成3年)
- 阪神淡路大震災(平成7年)



生産・流通・ 一つの都市「ワン長浜 消費都市と 滋賀大学社会連携研究センター 長浜市総合計画審議会会長 して 石井 良一 教授

責任、 様々な責任を負う都市になりました。 魅力づくりの責任、 としてのイメージ・体制づくりなど、 合併により、 生活中心としての都市拠点と北部地域の 長浜市 は 0

とも大きな成果です。 一つの長浜市というイメージづくりが進んだこ たちがまちを支えていく」という意識も生まれ く評価されるべきことです。さらに、市民の まちに大きな効果を発揮しました。これは大き 合併後10年間、北部地域の魅力づくりができ、

れます。 には、地域づくり協議会や自治会が活躍できる まち全体の底力を高めていくことが重要です りの力を総結集することが大切です。 を活かし、 手の減少など、これまでにない大きな変化が訪 人口増加、市中心部や地域づくり協議会の担 これからの10年は、 市民の底力が試される時であり、 仕組を作り、 総合計画の理念である「あらたな感性 みんなで未来をつくるまち」 行政と市民が一体となって、 生産年齢人口減少と老齢 そのため 人ひと のと

22 年

長浜市と旧東浅井郡と旧伊香郡の6町が合併

定額給付金・子育て応援特別手当給付

21

あざい・びわ・六荘で認定こども園のモデル事業開始

国道303号線川上・八草バ

パス全線開通

世界・日本の動き

· ADSLが開始 (平成 11 年)

・イラク戦争(平成15年)

・世界金融危機(平成19年)

・郵政民営化(平成19年)

・アメリカ同時多発テロ事件 (平成 13年)

・学校週5日制が導入される(平成14年)

・オバマ氏が黒人初の米大統領に(平成21年)

· JR福知山線脱線事故(平成17年)

長浜市民会館閉館

20 年

19 年

小中学生入院費助成制度スタート(小学生は19年から)田根地区地域づくり協議会設立(長浜第1号)長浜曳山祭12基が99年ぶりに長濱八幡宮に揃うJR琵琶湖環状線開業

18 年

北近江

一豊·千代博覧会開催

奥びわ湖水の駅あぢかまの里オ

ープン

長浜新川(山階―琵琶湖4㎞)開通

京都大学と〇次予防健康づくり推進事業の計画策定

市税等のコンビニエンスストア納付スター

長浜バイオ大学開学

湖北地域消防組合発足

長浜市・浅井町・びわ町が合併し、長浜市となる

17 16 15 年 年 年

新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち

平成11年

クリスタルプラザ稼動開始

地域振興券交付

西浅井

トプラザ完成

印 調本

代です。

湖北地域でも市町合併論

など行政改革が国全体で進んだ時

市町村合併、

指定管理者制度導入

平成中期は、

地方分権の推進、

12 年

13 年

湖北みずどりステーションオープン

湖北文化交流センター完成 介護保険制度スタート 曳山博物館オープン

定

14 年

新横山·

トンネル開通

幼稚園で3年保育スタート

小学校英語教育スタート

併

は地域で」という考えが広まり、換期となりました。「地域のこと

現在の長浜市が誕生し、大きな転 議等が高まり、2度の合併により

合

1市6町合併調印式

り協議会ができるなど、

現在の長

市内で初めて田根地区で地域づく

築かれました。

協

公立学校完全週5日制スター

冨田人形サマープログラム開始

平成

1∼22

牵

による新たなまちづくり(記憶

3 広報ながはま 2019年5月1日

令和の時代

髙橋 政之 さん

株式会社黒壁